

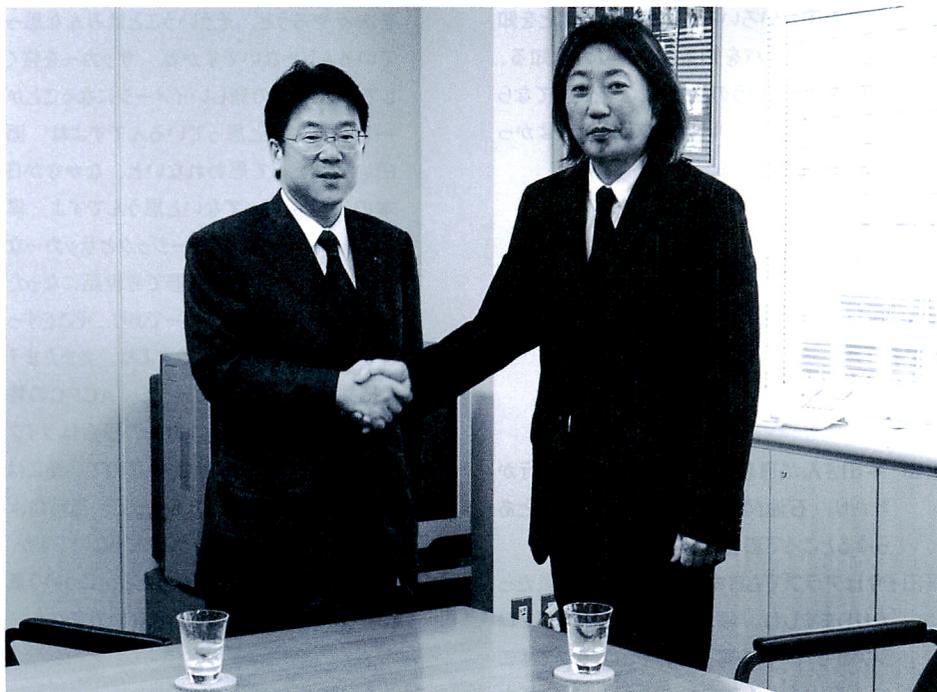
ZONING

SEPTEMBER 2004

VOL.
ZONING
INFORMATION NEWS

30

禁無断複写転載 © 2004. A.C.P.C.



topic

“アテネオリンピック”への男女揃っての出場、アジアカップ、欧州強豪チームの来日など、日本のサッカー会は確実に世界の中で動いています。今回は、その日本のサッカー界の中核で活躍している平田竹男GS（ジェネラルセクレタリー）に登場していただきました。本会が社団法人化される際の所轄官庁の課長補佐であり、ACPCの生みの親のお一人です。

永田:おかげさまで社団をいただいてから早いもので14年経ちました。平田さんにお世話になったのは15、6年前になりますね。

平田:あの頃は33歳くらいでした。永田さんなくては、井上さんなくては、宮垣さんなくてはということでしたね。あの頃、ACPCの始まりの時は何をしていました？

永田:“こどもえいど(※)”ですね。経口補水塩という一袋10数円のものがありまして、それを1つ買うとアジアの難民の子供が何人か助かるということで何回かやらせていただいて。

平田:この前、サッカーの欧州選手権でポルトガルにいたんですけど、その時に食後酒を飲んだんですよ。ウンダーベルグ。あれを見て永田さんを思い出しました。あの時に尾崎豊さんも一緒だったと思うんですけど、ウンダーベルグと尾崎豊さんと永田さんが重なって。

永田:尾崎豊も今年13回忌なんですよ。

平田:すごく透明な感じの人でしたね。

永田:あの当時に比べると日本の音楽産業自体もずいぶん変わって、その当時はパッケージがこのような形になるとは思ってもみなかったんですけど。

平田:でもライブが重要だというのは変わらないですよ。

永田:それと最近の傾向でエルダーマーケットと言いますが、音楽に対しては、団塊の世代オーバーから40代くらいまでの人たちが動き始めてきたという印象があります。10年以上前というのは、若い頃に音楽を聴いていても、その年代になってしまうと音楽から離れてしまうという傾向があったんですが、最近はその年代の方々が元気になったということもあるんでしょうけども、ジャズを聴くようになったりクラシックを聴きに行ったり、エンタテインメントが多様になってきているということがあるんでしょうね。

平田:何となく生涯流行歌という感じですよ。桑田佳佑さんなんて3世代アーティストになっていますよね。3世代アーティストなんて初めてじゃないかと思うんですよ。

永田:サッカーの観客というのは年代はどうなんですか？当初、Jリーグがスタートした時と比べると。

平田:そうですね、若いですね。中でも新潟は特殊です。夢ですね、ああいうのは。大変なベンチャー精神を持ったリーダーがいたということでしょう。そういう意味では新潟も3世代系ですね。あのチームが強くなったらすごいことなるでしょうね。

永田:Jリーグ発足当時はフランチャイズとして一番色が強かったのは鹿島ですか？

平田:明確にそうですね。ACPCの仕事をしていて、あの時は並行してJリーグの仕事もやっていたんですが、ACPCは各社の事業エリアも決まっています、すごく参考になりました。今、芸能界とのリンクを一生懸命やっています。とにかくサッカーを盛んにするために。特に女子の中でサッカーを「観る」から「する」に変えるところをどうするか。別に代表選手を出したいとかそんな大それた事は考えていないんですけど、やってみるといって人が増えるといいなと。今、東京の公園はフットサルで埋まっているんですよ。あの中

平田さんと会えて いなかったら、 こういう風になって いなかったかもしれない



に女の子が入るといいなと思っています。
永田:女子サッカーがオリンピックに出場となると、女子サッカーの普及というのは広がるんですか？

平田:そうだといいですね。だから、とにかく認知されることが大事で。女子サッカーの北朝鮮戦をゴールデンタイムにテレビ放送してもらって、あれで認知されましたね。そこが一番苦労してお願いしたところでですね。今、女子サッカーがあるということは何となくみんなに知ってもらったし、オリンピックでも頑張っただけいいですね。最近では、女子サッカーがオリンピックに行けたということは裏方としての達成感を持っている仕事ですね。女子サッカーの北朝鮮戦が視聴率を取って、巨人・阪神戦よりも遙かによかった。でも、そんなことを言っている場合ではなくて、スポーツとして足してどれくらい視聴率があるのか。野球とかバレーボールとかサッカーとか、スポーツが6つくらいあるチャンネル

学校ができないことを僕たちがやるしかないと思っているんですね。子供たちを元気にしたり、子供たちに語学に目覚めてもらったり、世界中の国を知るというのもサッカーを通じて。だから、日本人の国際化というのはサッカーを通じて。日本人の国際化と言うとアメリカを知ることみたいなイメージがあるじゃないですか。あるいは韓国を知ること。違うと思うんですね。地球上の世界の国がいろいろあるんだということを知る。ヨーロッパを知る、アフリカを知る、南米を知るというのはサッカーを通じてならはなので、ワールドカップはそれがよかったと思うんですね。

カーを強くするという。それと新しいことを次々やろうと。そういうことはみんな思っているんじゃないですかね。サッカーを強くして、日本人の新しいイメージになることが一番の国益だと思っているんですね。面白いやつだと思われないと、なかなか日本の安全保障ってないと思うんですよ。僕としては、やっぱりミュージックとサッカーなんですよ。自分の青春でお世話になったのはフォークでありサッカーであり、そこをずっとやっているということですよ。たまたまそこに共通点がたくさんあって。ACPCの場合はライブであり、サッカーの場合はライブしか意味がないという世界なので、そこは仕事を越える感情移入をもって、ときに永田さんたちと会えたということじゃないですか。
永田:平田さんと会えていなかったら、こういう風になっていなかったかもしれないですね。

サッカーを通じて 日本の社会を変えたいって 常に思っているんです

永田:平田さんが通産省時代にブラジルに行かれたり、石油関係で中近東とか、ありとあらゆるところで影響があるんでしょうね。

平田:今はアラブでも日本のサッカーは人気だったりしますしね。稲本はワールドカップでロシアからゴールを奪ったので、アラブですごい人気があるんですね。そういうものが大きくなるって思っています。今は、小学生が外国語を話すということを当たり前のように思っているんですね。ヒデ（中田英寿）がイタリア語を喋っているし（小野）信二がオランダ語を喋っているから、そうなると思って育っている。そう思っている時に語学を入れたいなって思っているんですよ。そういう子供たちが多くなって、うまい子が出てくれば、当たり前のようにヨーロッパでプレーするでしょうし。それで選手だけでなく指導者を出したいですね。今はフランスもドイツも監督のなり手がいないで困っているので、日本人がそういうところに呼ばれるようになったらいいなと思っていますんですかね。イングランドの監督はスウェーデン人ですし、ギリシャの監督はドイツ人です。

永田:さっきの座標軸のお話がありましたね。ああいう考え方はご自分のテーマとして日頃の活動をなさっているのか、もしくはサッカー協会の底流に流れるものとしてそれはあるんですか？

平田:協会組織として底流にあるのはもちろんサッ



の中でどれだけ取っているのかということに関心がありますね。

永田:サッカー協会として、メディアへの働きかけやメディアをどう使うかという話し合いとか、実際に活動されているんですか？

平田:特にサッカーというのはうちく系が難しく、映像を観ないことには、映ってなんぼの世界なんですよ。だから、できるだけ映ってほしいですよ。女子サッカーはその典型ですね。あのバレーボールも僕は立派なものだと思うな。映っているから、みんな知るわけですよ。だから、すごいなって思っています。

永田:サッカー協会はすごく大きな組織ですが、平田さんの目はどの辺まで見ていらっしゃるんですか？

平田:サッカーを通じて日本の社会を変えたいって常に思っているんです。それと、サッカーを通じて世界における日本のイメージを変えたい。あとはサッカーを通じて他の国と仲良くしたい。そこは僕の座標軸ですね。

※こどもえいど

アジアの恵まれない子供たちのために行われたACPC主催のチャリティイベント。1990～1992年にかけて年1回、計3回開催された。

このインタビューは2004年7月12日に行われました。

平田竹男氏プロフィール

1960年1月16日生まれ

【学歴】

1982年3月 横浜国立大学 経営学部卒業
1988年6月 ハーバード大学J.F.ケネディスクール卒業(行政学修士)

【略歴】

1982年4月 通商産業省入省(基礎産業局 総務課)
1989年4月 産業政策局 商政課 サービス産業室 総括班長
1991年5月 外務省在ブラジル国 日本国大使館一等書記官
2001年1月 資源エネルギー庁 資源・燃焼部 石油・天然ガス課長
2002年7月 財団法人 日本サッカー協会 専務理事(ジェネラルセクレタリー)

この間、サッカー関連として、プロリーグ検討委員会アドバイザー(1990年)、2002年ワールドカップ日本招致委員会委員(1991年)等の役職を数多く歴任する。

基礎調査〈平成15年〉

調査団体名：社団法人全国コンサートツアー事業者協会
調査対象期間：平成15年1月～平成15年12月
会員数：49社

地域別内訳

北海道	2社
東北	5社
関東	18社
北陸信越	4社
東海	4社
近畿	6社
中国四国	3社
九州沖縄	7社

1. 年間公演回数

(単位：本)

1) 総公演数	13,043
2) 地域別公演数	
北海道	533
東北	955
関東	4,268
北陸信越	440
東海	1,108
近畿	3,209
中国四国	879
九州沖縄	1,088
不明・他	563

2. 年間動員数

(単位：人)

1) 総動員数	18,024,667
2) 地域別動員数	
北海道	667,050
東北	821,392
関東	7,888,441
北陸信越	420,429
東海	1,970,817
近畿	3,513,957
中国四国	1,221,190
九州沖縄	1,521,391

3. 市場規模

(単位：円)

1) 総売上額	94,282,000,000
---------	----------------



ご求人・アルバイトの情報を
お気軽にお寄せ下さい。

<http://www.tohogakuen.ac.jp/~recruit/>

学校
法人 東放学園

東放学園キャリアサポートセンター

〒150-0071 東京都渋谷区本町3-9-3 ☎ 0120-375-099 FAX: 0120-375-033
E-Mail: syusyoku@tohogakuen.ac.jp

平成16年 通常総会報告

6月10日、平成16年度通常総会が開催され、平成15年度決算報告および平成16年度事業計画が承認されました。また、役員改選に伴い、新役員人事が決定致しました。



平成16年度通常総会が6月10日(木)東京・平河町の砂防会館で開催されました。

永田会長の挨拶に続き審議事項に入りました。まず平成15年度の事業報告が山本事務局長から、そして瀬川常任理事より収支決算報告がなされました。ともに全会一致をもって承認されました。

また、承認された平成16年度事業計画は別掲のとおりですが、重要点は次のとおりです。

一つは、情報流通の場を積極的に設けていくことです。具体的には、コンサート関連事業者を横断的にまとめた“コンサート・フォーラム・ジャパン”を設立し、情報収集・告知の窓口を広げていきます。また、マスコミの方々と懇談会を設け、交流を深めながら情報流通の促進を図ります。二つ目は、コンサート事業に関する法的な整備です。昨年度の調査を踏まえ、コンサート約款の改定、事業者標準契約書の作成等について議論を進めています。



最後に役員改選が実施されました。今回は業界内の意見をより多く吸い上げ、かつ深度のある議論を期待したいという目的のもと、業界外の委嘱理事を5名に減員し、業界内理事を増員しました。再任された永田会長は3期目となりますが、「本年度も会員諸兄の皆様のご意見をいただきながらACPCを運営していきたい」という力強い挨拶があり、通常総会は閉会しました。

A.C.P.C.新役員

会 長

永田 友純 (株)ホットスタッフプロモーション

副会長

小島 紳次郎 (株)ウエス

山崎 芳人 (株)キョードー東京

常任理事

桑原 宏司(新任) (有)サンデーフォークプロモーション

辻居 幸一 中村合同特許法律事務所・弁護士

中西 健夫(新任) (株)ディスクガレージ

藤田 等(新任) (有)エフ・オー・ビー企画

理 事

荒木 伸泰(新任) (株)キャピタルヴィレッジ

鏡 孝彦(新任) (株)グリーンズコーポレーション

佐藤 寿彦(新任) (株)ジー・アイ・ピー

鈴置 雄三 (株)サウンドクリエイター

高山 昌芳(新任) (株)フリップサイド

反畑 誠一 反畑誠一事務所・音楽評論家

千葉 茂 東京都専修学校各種学校協会・理事

宮垣 睦男 (株)デューク

室田 正則 (株)キャンディー・プロモーション

渡辺 真理 法政大学工学部・教授

常務理事・事務局長

山本 幸治(新任) (社)全国コンサートツアー事業者協会

監 事

北島 匡 (株)ビッグイヤーアーツ

瀬川 忠雄(新任) (株)ノースロード・ミュージック

渡部 秀一 渡部会計事務所・税理士

顧 問

黒田 益弘 (株)ソーゴー東京

■この度の改選で、常任の任を拝命しました桑原です。
業界を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しておりますが、諸先輩方の築かれた功績を引き継いで、今後の業界、団体の発展に寄与できる様、微力ながら頑張っていきたいと思ひます。
ACPCへの引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。
サンデーフォークプロモーション 桑原 宏司

■音楽業界を取り巻く環境が厳しい中、我々にとっても、「ピンチがチャンス」という精神で、決してネガティブにならず、ポジティブに考えていくターニングポイントを迎えたいと思ひます。
古い良いことは残しつつ、新しい事を「始める勇氣」をもって望んでいきたいと思ひます。
ディスクガレージ 中西 健夫

■何年か前には考えられなかった様な物や事が当たり前のように起こり、全てが殺人的な方向に進んでいるように感じるし、音楽業界も例外ではない様に思われる。そんな時代だからこそ、もう一度自分の足元を見つめ直すとか、多くの先達の方々が、この協会を作らずにはいられなかった情熱や、理念を考えることから始めて試みようと思ひます。基本がゆっくりとしたゆる系の人間なもので……。
エフ・オー・ビー企画 藤田 等

■日々の雑用や目の前の事で精一杯の私ではありますが、自分なりに経験してきた中で感じた事やできる事をACPCを通して生かしていければと思っております。
キャピタルヴィレッジ 荒木 伸泰

■4年ぶりにACPC理事にカムバックすることと相成りました。4年という歳月を振り返ると、音楽を取り巻く環境も大きく様変わりしました。ダウンロード、着うた、デジタル家電など……。しかし、我々の扱うライブは不滅です。新たな気持ちでコンサート文化の発展に尽力いたします。
ジー・アイ・ピー 佐藤 寿彦

■諸先輩方が築いてこられたエンターテイメントビジネスの基であるライブ・コンサートツアー事業のより一層の発展と確立を目指し、クリエイティブマインドをベースに他のエンターテイメント事業との協力・連携を図り、多様化する社会と文化に貢献したいと思ひます。もっともっと楽しめる様に。
グリーンスコーポレーション 鏡 孝彦

■しばらくの間、ACPCとは役員としては離れておりましたので、初心に戻りから勉強し、今後協会が進むべく道(方向性)を見つけて皆様に貢献していきたいと考えております。また、現実的かつ身近な問題等を解決していければ、と思っております。
フリップサイド 高山 昌芳

〈平成15年度収支決算報告〉 収支計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

I. 収入の部

(単位:円)

科 目	H15年度決算額
1. 入会金収入	150,000
2. 会費収入	15,615,000
3. 事業収入	103,720,792
4. 団体協定一括手数料収入	40,885,529
5. 補助事業収入	1,997,856
6. 雑収入	38,901
当期収入合計(A)	162,408,078
前期繰越収支差額	△12,631,169
当期収入合計(B)	149,776,909

II. 支出の部

(単位:円)

科 目	H15年度決算額
1. 事業費	95,356,662
2. 管理費	50,426,417
3. 補助事業費	3,330,531
4. 借入金返済支出	8,570,000
5. 回収不能費支出	30,000
6. 法人税及び住民税	474,700
当期支出合計(C)	158,188,310
当期収支差額(A)-(C)	4,219,768
次期繰越収支差額(B)-(C)	△8,411,401

かけがえのないひとときを、ともに分かちあう。

その音楽を生み出した作詞家、作曲家への感謝の気持ちも、どうぞ忘れないでください。



いつまでも
大切に
したいもの。

平成16年度事業計画書

<平成16年4月1日から平成17年3月31日>

①コンサートツアー事業に関する調査・研究

(定款第4条第1号関係)

(1) コンサートツアー事業に関する調査・研究

- ①正会員を対象に事業規模及び実施公演等に関する調査を行う。
- ②インターネット及び携帯電話等を活用した消費者向け情報流通の研究・実験する。
- ③事業者間における標準契約書式の研究及び普及を行う。

(2) コンサートツアー事業に関する合同調査・研究

- ①任意団体「コンサート・フォーラム・ジャパン」において次の調査研究を行う。
 - 著作物使用料規定改定による事業者への影響に関する調査
 - コンサート約款の内容の検討・改定及び普及
 - 標準契約書式の研究及び普及他

②コンサートツアー事業に関する研修会・セミナーの開催

(定款第4条第2号関係)

(1) コンサートツアー事業に関する研修会の開催

コンサートツアー事業に関する現状を把握しつつ今後についての意見交換を行うなど、事業者意識の向上を目的とした人材育成のための研修会を開催する。 他

③コンサートツアー事業に関する情報の収集

(定款第4条第3号関係)

(1) 機関誌「ZONING」の発行

会員及びコンサートに関連する事業者と情報の交換を行うことを目的として、機関誌を4回発行する。

(2) ホームページの活用

会員及び一般消費者に対し、時事及び約款等を掲示するとともに、運営状況等の情報公開を行う。
また、新たに消費者センター窓口開設の研究・実施を行う。 他

④コンサートツアー事業に関する内外関係機関との交流及び協力

(定款第4条第4号関係)

(1) 音楽関係団体との交流及び協力

- ①文化庁が主催する「2004年舞台芸術国際フェスティバル」の企画・制作に協力する。
- ②「Act Against AIDS」に協力団体として参加する。
- ③教育機関及び企業等の事業実施に関し協力する。 他

⑤コンサートツアー事業に関する知的財産権の維持・管理および保全

(定款第4条第5号関係)

(1) 団体協定に基づく一括手続の実施

(社)日本音楽著作権協会との団体協定に基づき、コンサートにおける音楽著作物使用に関する許諾手続及び楽曲報告手続等を行う。 他

⑥前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

(定款第4条第8号関係)

(1) コンサートツアー事業に関する保険制度の研究と実施

(2) コンサートツアー事業におけるフラワーシップサービスの実施

●詳細は本会ホームページ<http://www.acpc.or.jp>をご参照下さい



フラワーシップ「花の通信配達」のご案内

専用の発注書にご希望のお花、ご予算(¥3,000～)などをお書きの上、ACPC事務局へFAXして頂くだけで、全国どこへでもお客さまのお気持をお届けできるサービスです。

ACPCへのご注文により、ご希望されたご予算に送料込みの料金と消費税でご請求させていただきます。

ギフトの種類は花束やアレンジメント、鉢物、開店祝いスタンド花、冠婚葬祭用に至るまで、あらゆる用途にお応え致します(専用カタログからご用途に合わせてお選びいただけます)。お花に添えるメッセージも24文字までお付けすることができます。

是非、こちらのサービスをご利用くださいますよう、お待ちしております。

お問合せはA.C.P.C.事務局まで。…………… TEL:03-3445-8720 FAX:03-3445-8721



第14回還付金報告

合計金額:¥11,671,607 対象公演:平成16年1月～3月開催公演(平成15年12月～平成16年2月申請公演) 参加会員数:40社



BOXステージ

デジタルオープンスタジオ

●総合ミュージック科

(ボーカリスト/コンポーザー・アレンジャー/音楽プロデュース/音楽雑誌編集コース)

●コンサート・イベント科

(コンサート制作/コンサートPA/コンサート照明/コンサート舞台監督コース)

●音響芸術科

(レコーディング・PA/サラウンドミキサー・MA/ラジオミキサー・DJコース)

日本工学院の音楽・音響系学科は、A.C.P.C.と提携。
これにより就職情報の提供や業界人による就職セミナー、個別就職ガイダンス、インターンシップなど、就職のための様々なサポートをいただいています。

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-123-351

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎0120-444-700

●PC & mobile URL <http://www.neec.ac.jp/> ●Eメール info@neec.ac.jp ●資料請求メール book@ad1.neec.ac.jp

ライブ会場における事故に関する報告

“ダイブ行為”や“物の投げ入れ”などによるコンサート会場内の事故については、協会としての見解を発表するなど、施設側、制作側のご協力を得ながら防止に努めているところです。このたび、4年前に東京で発生したダイブ行為による傷害事故についての一つの事例が本会・会員社より報告されました。法律によって判断されたことでもあり、是非ともご参考にしていただき、今後とも事故防止に努めていただきたいと思います。

平成16年6月23日
株式会社ディスクガレージ

弊社主催公演で起きました、お客様による事故に関しまして、先日被害者側と和解が成立致しましたので、詳細をご報告させていただきます。

1. 経過

2000年7月、都内ライブハウス（約2000名収容）にて開催致しました弊社主催スタンディング形式のライブ・イベントにおきまして、当時21歳の男性が、ダイブ行為を行ったと思われる他の観客（加害者を特定できず）との接触により、会場内にて受傷した旨報告を受けたスタッフが被害者を保護し、会場に配備していた看護師の診断を受けたところ、左半身が動かない状態ということで、ただちに弊社車両にて看護師同乗のうえ救急病院へ搬送、応急処置を施し、その後救急車にて専門病院に再搬送致しました。

病院での診断結果は「頸椎損傷」という報告を受けました。その後、弊社として被害者へのお見舞いや保障について複数回話し合いをおこないましたが合意に至らず、事故後約2年半が経過した後、被害者代理人より賠償請求の裁判を起す旨の連絡がありました。そこで弊社も代理人をたて、代理人同士の交渉の結果、2004年6月に和解成立に至りました。

2. 会場内の状況

- 約2000名を収容するライブハウスでのスタンディング形式ということで、会場内に柵を設置し、複数のブロックに分けてお客様を収容。
- 40名の警備員ならびに2名の看護師を配置。
- 被害者本人ならびに他の観客、スタッフも加害者を特定できず。また、どのタイミングで事故が起きたかも不明。

3. 被害者の状況

- 頸椎損傷の診断後、治療・リハビリのため、約1年の入院。

退院後、1年弱のリハビリ通院。

- 身体障害者等級表による級別3級の認定を受ける。
- 被害者は会社員であったため、約2年間の欠勤・休職を余儀なくされる。
- 事故以前は会社で外回り業務に携わっていたが、復職後は後遺症の影響もあって内勤となり、給料減額となる。

4. 和解調停の状況

- 被害者側から弊社に請求された内容は次のとおり。
治療費、入院付添い費用、マッサージ治療費、通院交通費、入院慰謝料、通院付添い費用、休業損害、後遺症逸失利益、後遺症慰謝料
約6,600万円
- 裁判所が判断した当初の賠償請求額は次のとおり。
4,250万円

- 裁判所が判断した賠償額および案分決定の論旨。
「観客が密集した会場内で頭上に上がる行為は、危険な行為と言わざるを得ない。被告は警備員を配置するなど安全配慮をしたというが、ダイブを容認していた以上、責任は免れない。他方、原告にしても、ダイブが危険を伴うことは予想できること（自ら危険に接近している）、原告が立っていた位置はその危険に巻き込まれる可能性を認識できること、原告がダイブを避けて会場入口付近にいようとしたと考えられないことから、原告の過失割合を5割と認める。」

加害者が特定できないこと、被害者がこれまでの経験から本公演の実態を把握していたこと、及び弊社の主催者（公演管理者）としての責任が問われ、過失相殺50%となった。

2,120万円

以上

コンサート・イベントのリスク回避のために

興行中止保険 入場者障害保険

スタッフ障害保険 賠償責任保険

☎ 044-935-6851

FAX 044-935-6852 担当:吉澤

MATSUYA 有限会社 マツヤ
Insurance Agency ご相談は…

考えてみませんか…

A.C.P.C.正会員、賛助会員のみなさまへ企業リスクの分散をお勧めいたします。

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1802 パラッツオ205

前会長 内野二郎氏逝去

内野二郎氏が平成16年6月15日にご逝去されました。

内野氏は、我が国のコンサートプロモーターの草分け的存在であり、キョードーグループの生みの親であり、そしてACPC会長として3期6年の永きに渡りコンサート業界をリードしていただいた正に恩人でした。

ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

ご恩返しもできぬままでしたが、せめて内野前会長のやさしいお顔のまわりを、感謝の言葉で飾らせていただきたいと思います。



■平成の爱因斯坦は、天国でどんな夢を見ているのだろうか。自らを天才「平成の爱因斯坦」と茶目っ気たっぷりに評し、音楽業界に多くの軌跡を残した我師、内野二郎。病に臥せても、俺の最後の仕事だと世代を越え歌い継ぐ美しい歌「翔歌」の展開に夢を語り、指示を与え続けた。

死に際に、いい人生だった… ありがとう… サユウナラの言葉を残し、心憎いばかりの粹な別れをした。

生前“内野の前に内野なし 内野の後に内野無し”と言った言葉が今、鮮明に甦る。誰からも愛され、好きな事をして、我侭に生きた77年間。

ありがとう、「平成の爱因斯坦」素晴らしい生涯に献杯

天国で敬愛する永島達司さんと、早、ビッグアーティストの招聘を計画されているのではないですか…。

(株)ザ・カンパニー 天野 員利

■あなたの想いを次世代へ伝えていきます

12年前にAAA（アクト・アゲインスト・エイズ）の立ち上げで、キース・ヘリングのポスターを見た瞬間、二人して同時に「我々AAAのシンボルはこの絵しかない！」と声を上げたのが、昨日のこのように思い出されます。大先輩ですが、内野二郎さんにはいつも、細やかで暖かな心配りをしていただきました。気の合う仲間がいなくなる寂しさを今、痛いほど感じています。内野さんの意思是、私たちが次の世代へしっかりと受け継いでいきます。

(株)アミューズ 大里洋吉

■突然の訃報に驚きました。内野前会長とは、団体協定締結前にお食事をご一緒しましたが、お仕事のお話をしている楽しそうな顔を鮮明に覚えております。プロデューサーとして、プロモーターとして、最前線で動き回ることこそが生き甲斐である、という熱さ・若さを感じさせていただきました。戦後の米軍キャンプ時代から現在まで、ずっと走り続けて来られたのでしょうか。

どうぞ、ごゆっくりお休み下さい。合掌

社団法人日本音楽著作権協会 常任理事
加藤正彦

■尊敬する、そして大好きな大好きな内野さんが亡くなられて、僕たちも淋しい、悲しい気持ちでいっぱいです。

30年ぐらい前の話「これから君達が頑張る時代になるよ」とおっしゃって頂いた事、今でもよく覚えております。

そしてAct Against AIDSをどうしても立ち上げたくて、大里さんに相談して、やっぱりこのプロジェクトはボスの内野さんをお願いしよう…。

それがきっかけで、世話人代表をお願いしましたね。

「とっても大切なことなので、僕に出来る事だったら何でもやるよ」と内野さん。

我々スタッフだけではなく森山良子をはじめ多くのアーティストの人達も、とても淋しがっています。内野さん、天国でステキな人生を…。

有難うございました。

大好きな内野さんへ

金子 洋明

■内野前会長の訃報に接し、いつでも、誰にでも、楽しそうに、そして一生懸命にお話をされる姿が思い出されました。海外の素晴らしいアーティストの招聘、アジアとの交流、音楽を通した社会貢献など、残された業績は数え切れません。また、そのお人柄を併せてみても、本当に「コンサート業界の偉大な開拓者」であったなと心から思います。

「MIDEM ASIA」に参加するため香港を訪れた時に、当時の幹部一同で、中華料理を食べながらACPCの会長に就任していただきたいと口説いたことも懐かしく思い出されます。言わば雲の上の大先輩であっただけに、ご承諾いただいた時の喜びは未だに忘れられません。

3期6年間、本当に多くのご指導をいただきました。改めて御礼を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ACPC会長 永田 友純

■内野二郎さんが亡くなられて今日（筆：7月14日）で丁度ひと月になりました。協同企画、協同企画エージェンシー、キョードー東京、ミュージックリーグ、そして各地キョードーグループの創始者、そして長年、音楽業界のプロデューサーとして活躍、ご尽力してこられた事は、私が述べるまで無く、業界の皆様はご承知のことと想います。

私の両親よりも長い42年間のお付き合いが出来たことは、内野さんの思いやり精神と誰からも親しめられる（頼りにする）性格でした。これからは故人の意志を大事にし、努力する決意であります。

最後に内野さんへ “お疲れ様でした”

(株)ミュージックリーグ 中村 実

(50音順/敬称略)